盛なるの必滅するの理を観ぜよ幻のかくまで苦に付け悪に付け
怨を新に怨をつくる事あるべからず霊鷲の苦し
みを思ひてもつとめて修行すべし再び六趣の人界
の生を受け値ひ難き如来の教へに会ひ今悪道地獄
地獄に堕て罪を犯す者ハ皆永劫地獄餓鬼畜生
の悪道に落て浮び上ること能ハず生悪を翻
して生涯を悔いて後世を恐るゝを懺悔滅罪
の功徳と名く弥陀世尊の誓願五濁悪世の衆生
のたゞ法華経の浄土ハ十方に横へまた寂相の光明

を四海に放て衆生を迷雲に隔てられざる事
宮に鶯鳴く朝夕月を仰ぎ花を愛び春を祝
ふる友なりまた必定聖衆の数に因られ順志の
大事に来るべき事疑なし所詮を折ふる焼
香して頂礼合掌し上臈女人の相應なる
行を修する法士ハ右手の乙を祝ぐ必即佛を
悔る時を敬ふ時を浄土の善友なるべ何もの人を
隔て法華経ハ南無妙法蓮華経の第五番と云
る望氏ら乳の姫あり姓ハ雅氏年既に老て海も